学校番号	119

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選「国語総合」新訂版　（三省堂）						
副教材等	やさしくくわしい古典文法（尚文出版）、最新国語便覧（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に「古典」で学ぶ内容に関連した古典作品を学び、同時に古典文法の復習や問題演習をします。
・教科書、ノート、古文単語帳、古典文法書を必ず持ってきてください。
・ノートには、授業で指示された内容のほか、メモを積極的に取りましょう。
・予習として必ず本文を音読し、担当の先生から指示があれば本文を丁寧に書き写してください。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・国語便覧はカラーの図絵が豊富で作品の概要を知るのに最適な教材です。授業で使用する以外の場面でも積極的に活用してください。
・古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。試験前には、ただ漫然と教科書の本文やノートを眺めるのではなく、試験でどのようなことが問われるのかを考えて学習に臨んでください。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに，古典についての理解や関心を深めようとしている。	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりして、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くことで、自分の考えをまとめ、深めている。	古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する力が身についている。
評価方法	・行動の観察（学習内容への参加姿勢や態度） ・記述の確認（ノート、プリント、ワークシート等）	・行動の観察（学習内容への参加姿勢や態度、発表等のパフォーマンスの評価）	・記述の確認および分析（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（学習内容における発言内容、態度） ・記述の確認（ノート、プリント、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察（学習内容における発言内容） ・記述の確認（ノート、ワークシート等） ・小テスト（単語・文法） ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	随筆	自然や人間に対する作者のものの見方、感じ方の特色を理解する。 本文の巧みな構造や展開を理解し、要点を捉える。	○			◎	○	a:随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情の特色を理解している。 d:文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。 e:係り結び、助動詞、助詞の用法を正しく理解して現代語訳している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
	上代の文学	古代の神話・伝説について理解を深める。 物語に即して古代の発想などを読み取る。 登場人物の行動や心情を理解する。	○			◎	○	a:古代の神話・伝説に興味を持って学習に取り組んでいる。 d:本文の構成を把握し内容を理解している。 神話・伝説の発想を理解している。 e:神話・伝説の文学史上の意義について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
2	和歌	和歌の基本を学び、その表現の特徴や時代による変遷を理解する。 和歌の修辞技巧を理解し、鑑賞する。 和歌に表れた作者のものの感じ方や、表現上の工夫を理解する。	○			◎	○	a:和歌の響きを味わい、こめられた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。 d:それぞれの和歌に詠み込まれた心情を読み取っている。 e:それぞれの和歌の修辞技巧や和歌史の流れを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査

	日記	登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 文章中の和歌の役割について理解する。 古人の旅についての理解と認識を深める。	○			◎	○	a:日記について理解し、興味関心を深めている。 d: 本文の構成を把握し、内容を理解している。 作者の観察眼や文章表現の効果を理解している。 重要古語や古典文法に注意しながら本文に即して現代語訳している。 e:文体の特徴を理解している。 内容、作者、成立背景などを把握し、文学史的意義について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
3	文	唐代以前の漢文を繰り返し音読し、漢文の調子に習熟する。 文章表現の特色と、文章に表れている思想について理解する。	○			◎	○	a:教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b:文章の構成を把握し、内容を理解している。 作者の思想について理解している。 c:作者や時代背景について理解している。 重要語句や漢字の意味を理解するため漢和辞典を活用している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。